

テニユア・トラック教員(助教)のテニユア審査基準について

1. 目的

岡山大学 RECTOR プログラム「宇宙物理データ解析国際研究拠点形成プロジェクト」のテニユア・トラック教員(助教)のテニユア審査において、テニユア付与(助教)を与えることを可とする審査基準について定める。

2. 審査基準(研究能力)

拠点専任教員(助教)として、世界的に認められ得る十分な研究業績を有し、将来において拠点の目的に合致する研究を世界のトップ水準に発展させる能力を有すると認められること。具体的には、着任後第一著者・責任著者で最終評価までに少なくとも1編のレフリー付き学術論文の公表、年平均1編の国際共著論文の公表、年平均1回以上の学会などにおける発表、国際会議・シンポジウムなどへの参加、が望ましい。

3. 審査基準(総合的能力)

拠点の研究プロジェクトを遂行するために必要な事項(研究計画の起案・研究予算の獲得・研究体制の構築を含む)を担う総合的能力を有すること。研究予算については、積極的に外部資金(科学研究費及び財団などの研究費)に応募し、テニユア・トラック期間中に少なくとも1回は研究代表者として外部資金獲得実績があることが望ましい。

また、拠点プロジェクト全般にわたって、拠点の他のメンバー・国内外の研究者ならびに関連する教員および本学大学院生と協力し、積極的にプロジェクトを推進できること。

以上